

市長と語る タウンミーティング
テーマ「災害に強いまちづくり」

日 時 平成24年6月19日（火） 午後7時～8時32分
会 場 鶴ヶ岡コミュニティセンター（鶴ヶ岡三丁目町会）
天 気 大雨

参加者 13人

主な意見等（◆・・・参加者 ☆・・・市長）

- ◆鶴ヶ岡に住んで69年になるが、比較的この地域は災害の少ない地域だと思う。しかし、強風の影響を受ける地域だと思うので、竜巻の影響が心配である。竜巻の予測はどのようにするのか。また、このたび自主防災組織を立ち上げ、補助金により防災倉庫も設置することができた。
- ☆竜巻の発生する確率を「竜巻発生確度」といい、気象庁から発表されている。確度が1、2とあって2になったら防災無線でお知らせすることになっている。直近でも2になりかけたと同時におさまってしまった例もあり、防災無線での情報提供は非常にタイミング等難しい。いたずらに警戒させてもいけない面があり、流し方には非常に気を使うところである。今後も不安をあおることが無いようになるべく正確な情報を流していきたい。
- ◆本庁舎は耐震整備でいくという方針らしいが、データなどのバックアップ体制は大丈夫なのか。それから、支所の職員体制の問題であるが、どの程度確保されているのか。避難場所についてこの地域は合併後に変更があり、鶴ヶ丘小学校から西小学校に変わったが、体育館の鍵の所在がよく分からない。学校ごとに町会長を集め、指定職員も集めてきめ細やかな打ち合わせ等やる必要があるのではないか。
- ☆支所も重要な防災拠点として、今後において支所の人員を増員していく予定であるが、災害の起こる時間が日中なのか、夜間なのか、夏なのか冬なのか、平日なのか休日なのかにより職員の参集状況には違いが生まれるのは仕方のない状況である。そんな中でも常に支所には本庁からも十分な職員配置をしていこうという考えである。今日の台風対策についても、既に本庁から職員を配置している状況であり、西側地域を支所職員だけで対応させるつもりはない。データ等のバックアップは栃木県で行っている。体育館の鍵についてのご指摘はまさにおっしゃる通りであり、近いうちに打ち合わせを行い、いつ災害が起きても対応できるようにしていきたい。それから、まずはどんな状況下においても自分の身を守ることを第一にしていきたい。状況次第で避難場所にすらすら辿り着けないこともあるかと思う。そんな時、身近にある公園でも空き地でも安全な場所に身を移して事なきを得て欲しい。

◆この鶴ヶ岡コミュニティセンターは避難場所として使っても良いのか。

☆一時的な避難場所として認識しておいて良いと思う。ここに限らず、避難場所の指定が無くとも公共施設に関しては一時的な避難場所になり得ると考える。公共施設はどんどん活用すべきである。公共施設だけでなく、大型店舗とも協定を締結している。食糧等、さまざまな支援が受けられるものと思う。さきほどの話にあったが、まず近いところの小学校に身を移し、落ち着いてから指定避難場所へ移動するのも良い手段。食糧については、市で一日分、県で一日分、そして三日目については皆さんの家庭にストックされている食糧でなんとか三日間を凌いでいただいているうちに、外部からの支援が来る想定をしている。

◆他市との協定はどのようなになっているのか。

☆いずれも県外であり、栃木県日光市、山梨県甲斐市、長野県飯田市と既に協定を結んでいる。今後は更に群馬県の安中市とも協定を結んでいく予定である。

◆トイレについての対処はどうなっているのか。

☆備蓄品の状況として簡易トイレを228基用意する必要があると考えているが、現状において226基を配置済みである。公園などにも防災用トイレを数箇所設置済みである。家庭においてもお米を購入する際に、10キロ袋を購入するとした場合、5キロ入りのものを2袋購入するといった方法も災害用には有効と考える。マンホールトイレは公共下水道が損傷していないことが前提となる。当面は現状の備蓄品の中で対応可能と考えているが、今後も出来る限りスピード感を持って対応していきたい。

◆児童の登下校に関する見守りを行っているので、3.11の際には急いで鶴ヶ丘小学校に向かった。児童は校庭に集められていたところだったが、ほんのつかの間の静寂で、すぐさま再び強い揺れが起こった。子どもたちの事も心配だし、自宅に残してきた家族のことも心配で、あの時は本当にパニックになってしまった。

☆最近考えることとして、枕元に靴を置いておくのも有効な手段ではないか。まずは、荒れている場所から避難するために。

◆防災無線の件についてデジタル化されるということであるが、3.11の時にもラジオの有効性が報じられた。地元FM局の設置など考えても良いのでは。3.11の時のような日中の地震への対応はサラリーマンには難しいので、世帯主などが不在の場合の行動マニュアルなどを整理し、市民に発信してもらえないか。そういった事で現役世代への意識の高揚を促して欲しい。

☆ふじみ野市も高齢化率が23%に達する状況であるため、60歳代の皆さんのお力を借りる事も考える必要があり、避難所の運営マニュアルを作成していく中では、中学生であっても体力的に可能な場合は地域にとって大切な「力」となり得ると考えている。情報伝達手段として防災無線を補完するものとして、Fメールやツイッターも有効だと考える。防災無線は特定地域の情報伝達をするものではないので、非常時の有効活用法としては落ち着きを促す手段が一番だ

と思う。3.11の際、ホームページが機能しなかった事を踏まえ、ヤフーと協定を結びヤフーから情報を取得できるように改善を図ったので活用していただきたい。防災無線について、現在は7割の出力で屋外にて聞き取れる程度の状況になっているが、9月12日には10割の出力で流すことになっているので、確認してみたい。

◆フットサル問題が浮上して4年を超える。あのフットサル場ができてからずっと騒音に悩まされてきた。そもそもなぜ法的に規制する根拠が無いという理由で住宅街であるあの場所に造られたのか。地権者、施設設置者と我々地域住民で5回ほど話し合ったが平行線である。県の公害審査会に諮ってみたが要求は受け入れられず調停は打ち切りになってしまった。この段階では市に頼るしかない。これまでもお願いしてきたが法的根拠が無いということで何の解決にも至っていない。今年に入り市長への提言を出し回答もいただいているが、市長ご自身から直接のご意見、感想を伺いたい。

☆私見は避けた方が良くと思うが、確かに、私自身が住んでいたとしたら同様な思いになるかもしれない。

◆市はあくまでも中立と言うが、日常生活に非常に大きな影響がある。

☆私が就任する以前からの問題であっても担当者からこれまでの経緯等について、きちんと話は聞いている。対応するための条例設置を事後に行うのもどうなのか、難しいと感じているので、既存の条例の中でどのように対応できるかが鍵になると思う。地権者も設置者も様々な言い分や利害関係があると思うが、我々がどう介入していけるかを探してみたいと思うので、この案件については別な機会を設定して話を伺いたい。

◆通学路の見守り等していただき大変ありがたいが、道路などの危険な場所についてはまだまだ改善箇所がたくさんあると思う。セレモニーホール付近、尚美音大付近、西中に向かうところなどたくさん危険箇所があるので、優先順位を付けて改善を図っていただきたい。

☆昨年の11月以降4件の死亡事故が続いており、そのうちの2件は信号機のある交差点で起きている。その後において事故対策会議を川越県土事務所や警察と合同で設置し、信号機の改善や歩行者専用分離帯の設置などについて、複数回にわたり会議を行っている。可能なところから関係機関と調整を図り対応していきたいと考えている。併せて、今後においても見守りの役割について継続しお願いしていきたい。

◆平日フルタイムで勤めているものにとって、窓口の時間延長についてはニーズが高いので検討していただけるとありがたい。働くものにとって優しいまちであって欲しいと願う。

☆出張所のパスポート発給業務が新たに10月からスタートするので、これに伴い、毎週日曜日は窓口を開く方針で現在検討中である。ご指摘のとおり市民の利便性を高めていくための方策を支所も本庁も併せて積極的に実施していきたい。

い。